

平成24年度在宅医療連携拠点 事業報告

つくば地域における在宅医療の課題と その解決策



公益財団法人 筑波メディカルセンター

在宅ケア事業

Home Care Services

つくば在宅医療連携拠点

志真 泰夫

1. 多職種連携の課題抽出に対する取り組み

● アンケート調査の実施

・ 調査目的：つくば市・つくばみらい市（以下、つくば地域）の在宅医療に

おける多職種連携の問題点を抽出し、今後の解決策を検討する

・ 対象者：つくば市医師会所属の診療所医師・訪問看護師・ケアマネジャー

	配布数	回収数	回収率
医師	151	49	32%
訪問看護師	52	42	80%
ケアマネジャー	141	86	61%

3職種を比較した調査結果概要

* A - 医師 (n=49)

* B - 訪問看護師 (n=42)

* C - ケアマネジャー (n=86)

■ まったくそう思わない・そう思わない

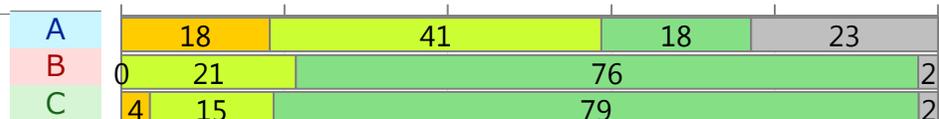
■ どちらともいえない

■ 非常にそう思う・そう思う

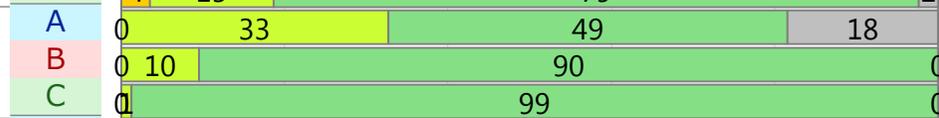
■ 不明・無回答

0% 20% 40% 60% 80% 100%

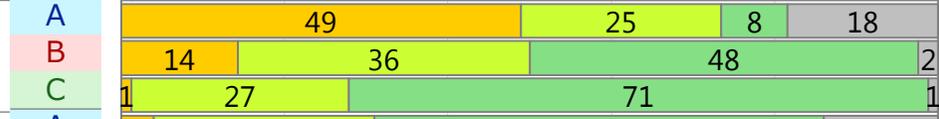
【退院支援・調整】 病院から退院して在宅療養に移行する際、退院支援・調整で問題を感じることもある



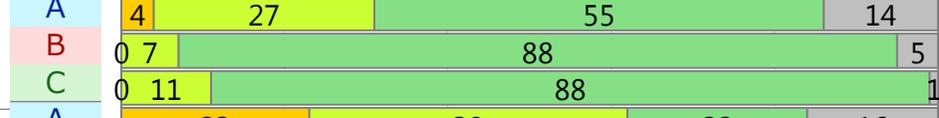
病院における退院前カンファレンスに参加することは重要である



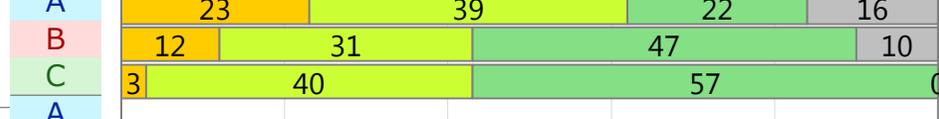
退院前カンファレンスが開催される時には必ず参加できている



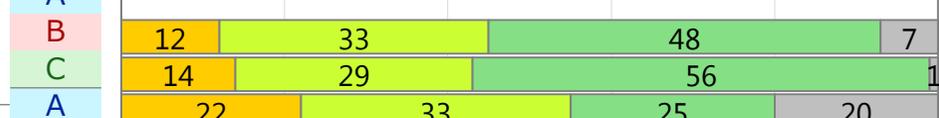
【療養生活の支援】 多職種の連携にかかわる情報を共有するシステムや書式（連絡票など）を作成し、運用することは重要である



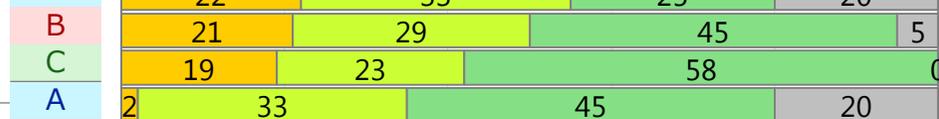
【急変時の対応】 急変時の対応についてサービス担当者会議などで話し合い、情報を共有できている



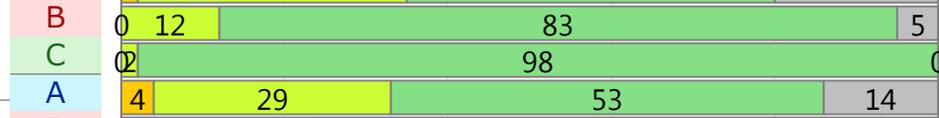
24時間対応可能な地域の医療資源（訪問診療、訪問看護など）が不足していると感じることがある



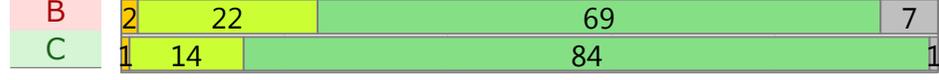
【在宅での看取り】 在宅での看取りは、不安や負担に感じることもある



在宅で看取りをするためには多職種によるカンファレンスやサービス担当者会議が重要である



【災害時の対策】 災害対策に関して問題を感じることもある



● 職種ごとの意見交換会と多職種合同意見交換会の実施

- ・ 期間 : 平成24年11月~12月
- ・ 目的 : アンケート調査の結果を踏まえ、つくば地域における在宅医療の課題解決に向けて、職種ごと、多職種による意見交換
- ・ 医師 : 医師会長、在宅ケア委員、訪問看護師 : 市内ステーション管理者
ケアマネジャー : 連絡会役員、地域包括支援センター : センター長、職員
- ・ 合同意見交換会 : 31名によるグループワーク



● 職種ごとの意見交換会と多職種合同意見交換会の結果

- 退院時の情報提供が不十分 ⇒ 退院時、在宅医師への情報連携シート作成
- 利用者に関わっている関係者が不明 ⇒ 多職種チームメンバー一覧表作成の検討
- 医師との情報共有が図れていない ⇒ 医師との連携タイム作成の検討

つくば地域の在宅医療の課題と提案

検討課題	地域の課題	課題に対する提案
病院における退院支援・調整	<ol style="list-style-type: none">1.退院時の情報提供が不十分である2.情報提供者による情報量に差がある3.退院前カンファレンスに在宅医師の参加が難しい	<ol style="list-style-type: none">1.病院・在宅関係者の多職種交流会の開催2.退院時、在宅医師への情報連携シート作成
日常の療養支援	<ol style="list-style-type: none">1.医師との情報共有が図れていない2.利用者に関わっている関係者の顔が見えない3.情報共有を図る方法がない	<ol style="list-style-type: none">1.連携タイム表作成の検討2.多職種チームメンバー一覧作成の検討3.情報共有のためのIT活用の検討
急変時の対応及び在宅での看取り	<ol style="list-style-type: none">1.サービス担当者会議に関係者全員の参加が難しい2.CMの医療知識が不足している3.関係者間の情報共有が図れていない4.バックベッドの確保が困難である	<ol style="list-style-type: none">1.看取りのためのパンフレット「これからの日々」「お別れのとき」の活用による説明の標準化2.在宅トリアージカード作成の検討 (例：静岡市)3.病院MSWとの連携による後方病床の確保

つくば地域の在宅医療の課題と提案

検討課題	地域の課題	課題に対する提案
在宅医療に携わる人材育成	<ol style="list-style-type: none">1. CMの医療知識が不足している2. 訪問看護師の人材が不足している3. 医師同士の連携と在宅医療に関する知識・技術が不十分である	<ol style="list-style-type: none">1. 地域で行われている事例検討会やケア会議の開催と役割分担の検討2. 在宅緩和ケアカンファレンスの開催3. 多職種研修会の開催（包括・医師会・拠点共催）
災害対策	<ol style="list-style-type: none">1. 災害時の指揮系統が不明である2. 関係者間の連携が不十分である3. 連絡手段が遮断されると安否確認が困難である4. 個人情報保護法により安否確認ができない場合がある5. 医療機器、電気、ガソリンなど拠点だけでは解決できない問題がある	<ol style="list-style-type: none">1. 各団体責任者等での災害対策会議の検討<ul style="list-style-type: none">・ 指揮系統の明確化（地域災害コーディネーター）・ 安否確認のリスト作成、方法、個人情報の取扱い、緊急車両の取扱いなど2. 行政の災害対策担当者との地域包括支援センター、連携拠点の災害に関する協議の開催

2.在宅医療従事者の人材育成

●在宅ケア実践セミナーの定期開催

＊目的：在宅医療に従事する者の人材育成、多職種研修による顔が見える関係作り

＊参加職種：医師、歯科医師、薬剤師、看護師、ケアマネジャー、地域包括

支援センター職員、理学療法士、作業療法士、介護士、医療ソーシャルワーカー

【第1回在宅ケア実践セミナー】平成24年9月10日

○内容：患者と家族の心の揺れにどう対処するか

○参加者：101名

【第2回在宅ケア実践セミナー】平成24年11月12日

○内容：在宅でのリハビリテーション：自助具と疲労評価

○参加者：66名

【第3回在宅ケア実践セミナー】平成25年3月11日

○内容：在宅での薬剤管理：工夫とコツ

○参加者：76名



3.医療・介護・福祉資源の把握と最適化

●つくば地域の医療・介護・福祉資源マップの作成と

つくば在宅医療マップ Home Medical Care



つくば地域(つくば市・つくばみらい市)における在宅医療に関わる診療所、訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所の情報を検索することができます。

クリックすると別ウィンドウで地図が開きます。

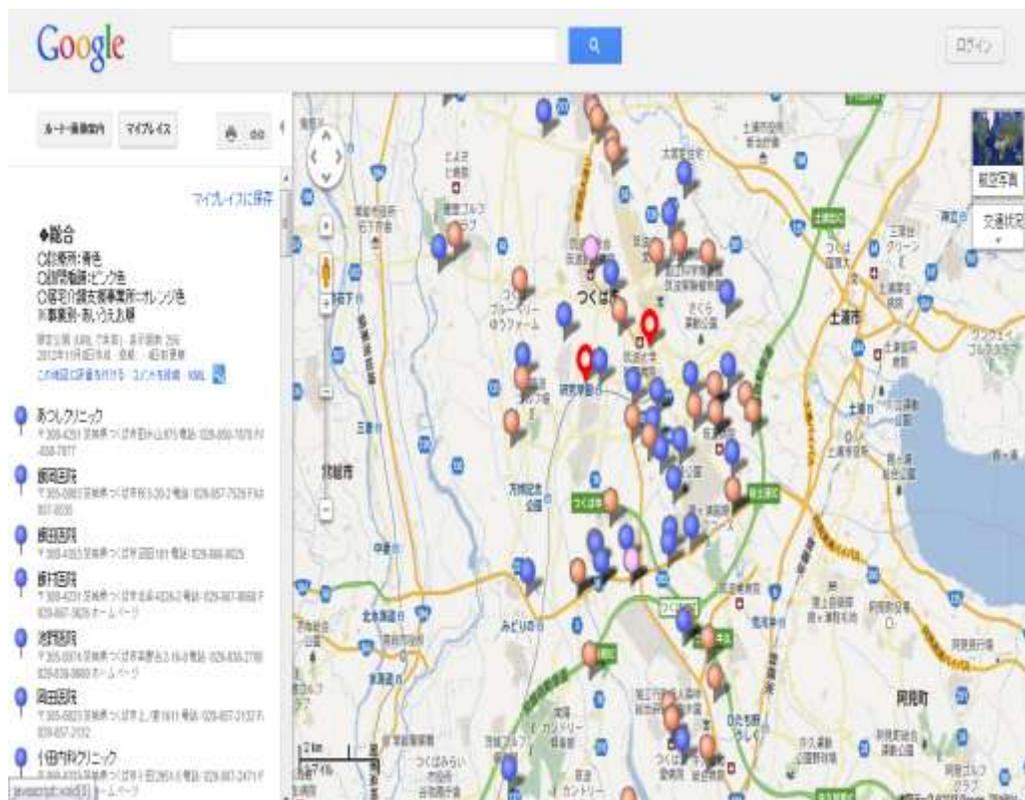
- つくば在宅医療マップ(総合)
- 診療所(36か所)
- 訪問看護ステーション(10か所)
- 居宅介護支援事業所(4か所)



掲載の希望があった事業所を表示しています。
ポイントの位置が合っていない場合があります。お気づきになりましたら事務局までお問い合わせください。
お問い合わせ先:つくば在宅医療連携拠点事務局
(筑波メディカルセンター病院西館内)
〒305-0005 つくば市天久保1-1-1
TEL 029-851-3511(代表) FAX 029-855-9008

◆掲載要件

- 診療所:「在宅療養支援診療所」の届け出をしている、または、「昼夜訪問診療」を行っている診療所を掲載しています。
- 訪問看護ステーション:「24時間連絡体制加算」または「24時間対応体制加算」の届け出(医療保険)をしている、「緊急時訪問看護加算」の届け出(介護保険)を行っている訪問看護ステーションを掲載しています。
- 居宅介護支援事業所:特に要件は課していません。



Google Maps showing the distribution of medical and welfare resources in Tsukuba. The map is densely populated with colored markers (blue, orange, red) indicating the locations of various facilities. A sidebar on the left lists search results for '総合' (General) and '茨のクリニック' (Itsunokuni Clinic), including details like address, phone number, and website.

4.その他の活動

- 地域住民への普及啓発活動：「市民健康講座」開催
- パンフレットの作成と配布
 - * 「わが家がいちばん」 * 「これからの日々」「お別れ
のとき」
- つくば市地域包括支援センター、医師会との定期協議
- 災害物品の整備：発電機、バッテリー内蔵吸引器、ラジオ付懐中電灯

5.これからの取り組み

- 多職種研修の推進と顔が見える関係作りの促進
- 医師会、地域包括支援センター、つくば市等の関係機関・団体との協働
- チーム医療を推進するための情報共有システムの構築